

平成30年度 第1回中間貯蔵事業技術検討会 議事要旨

1. 日 時：平成30年5月21日（月） 15:00～17:00
2. 場 所：JESCO 本社5階A会議室
3. 出席委員：森田委員長、大迫委員、国包委員、吉岡委員
（オブザーバー）環境省
4. 議 題：
 - （1）平成30年度技術的調査・検討業務等について
 - （2）平成30年度業務別の内容について
 - （3）報告事項について
 - （4）その他

議題

（1）平成30年度技術的調査・検討業務等について

平成29年度の業務結果を報告するとともに、平成30年度の技術的調査・検討業務について、再生利用・減容化の促進、中間貯蔵の着実な推進、輸送量の急激な拡大への対応、技術情報の丁寧な発信という4つの柱を踏まえ、技術的調査・検討、入退ゲートの管理、除去土壌の分級処理技術の整理、除去土壌等の減容等技術実証事業、研究施設の設置に向けた対応などに取り組むことを説明。

主なコメント等は以下の通り。

- ・ 「情報発信」は大事である。情報センターの開設・運営も含めて進めてほしい。
- ・ JESCO が信頼をもって評価されるよう、研究開発にとどまらず日頃の事業も含め、外に見える形で成果を情報発信することが必要である。
- ・ 技術調査について、もう少し具体的な中期的目標を出してほしい。 など

（2）平成30年度業務別の内容について

個別業務の内容として、受入・分別施設における改質材に係る検討、ETC による入退ゲートの管理、研究等施設の設置に向けた対応、GIS や管理台帳の整備の検討について説明。

主なコメントは以下の通り。

- ・ 受入・分別施設における改質材に係る検討に当たっては、受入・分別施設への適性の考え方や、ふるい下の土壌を貯蔵した後についても留意すべきである。
- ・ GIS・管理台帳整備の検討に当たっては、地上権設定の土地の所有者は、その土地がどのように使われたかが一番知りたいところであり、その点について配慮が必要ではないか。 など

（3）報告事項について

平成30年度除去土壌等の減容等技術実証事業、除去土壌の分級処理システム実証事業、環境放射能除染学会第7回研究発表会企画セッションの三点について報告した。

以上